

經營理念

希望

敬愛

報謝

北本廣吉 筆



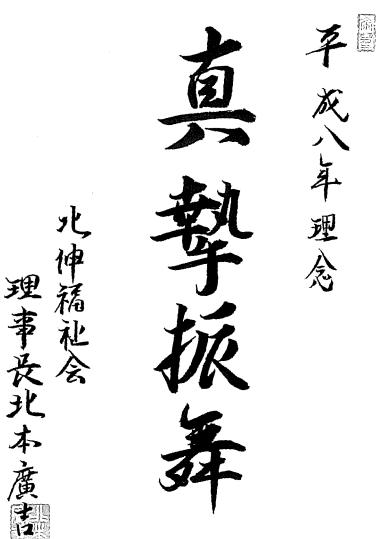
平成7年基本理念

無駄を無くして大きく積り羽ばたく年へ

無駄の意図するところは時間です。

皆へ平等に与えられた時間を有効に活用いただきたい。

「光陰矢のごとし」「タイム・イズ・マネー（マネーは金ではなく大切なものの意）」のように失っては帰ってこない
大切なものです。だからこそ有効に活用し羽ばたく基礎となります。

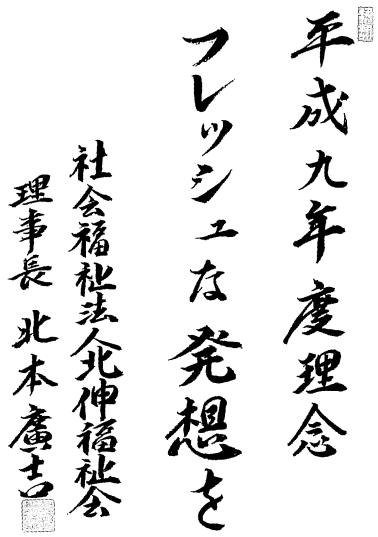


平成8年基本理念

真摯振舞

お客様あっての私たちの生活です。

社会福祉法人としての使命を実感し、公的立場に自分が存在する事を考えれば、決して忘れてはならない真摯な心と
その態度を現すこと。



平成9年基本理念

フレッシュな発想を

前に突き進む若き力に大いに期待したい。また、発想を発想で終わらせるのではなく、信念に基づき実現することに
努める。



平成十年 基本理念

平成10年基本理念

真心以

人との関係には真心を持って接し、また、私たちはご利用者、家族、地域の方々を一番に考え仕事に邁進。誠意ある心で相手の事を考える力を付けよ。



平成十一年度 基本理念

平成11年基本理念

地域え密着

「え」が重要。地域共生は社会福祉法人の基本使命です。時には下座する事もあるが、地域へご理解いただけるよう交わりを深めていく事が大切。



平成十二年 基本理念

平成12年基本理念

責任感の旺盛

「言われたからする」待ち受け仕事は人格の欠乏。「やってやろう」「やらせて下さい」の一歩踏み出すやる気を大切にして欲しい。そこには愛着があるはずだし、また、やるからには勉強も必要だろう。自身の意識を高揚するよう努めよ。

北仲福祉会
理事長 北本 廣吉

三には まだ来てね

一には 笑顔で
二には ご挨拶を

実践

平成十三年 基本理念

平成13年基本理念

実践 一には 笑顔で
二には ご挨拶を
三には また来てね

「また来てね」は来て頂ける環境、おもてなしの心を表す。目に見える素敵な姿勢を内心から表現できるよう努める。

北仲福祉会
理事長 北本廣吉

計る

平成十四年 基本理念

平成14年基本理念

計る

数える、計算する、とあるが、各位は自己を勘案し、計画的に行動することに努め、常に他より計られて居る者であると理解すべきである。

北仲福祉会
理事長 北本廣吉

福祉は文化

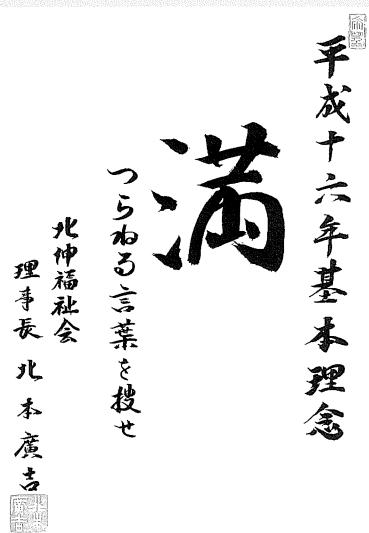
平成十五年 基本理念

平成15年基本理念

福祉は文化 研鑽に努める

常に自分に挑戦しつづける気持ちを大切にし、お客様に選んでいただけるサービス提供に努める。

平成16年～20年の 実践方針



平成16年

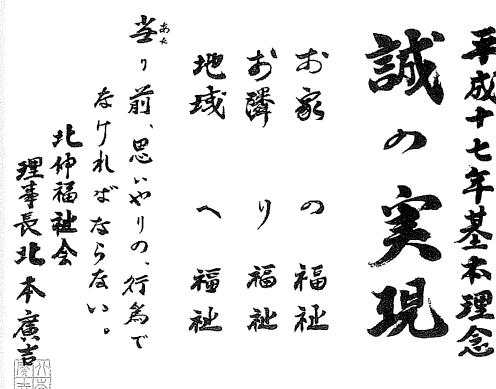
満 つらねる言葉を搜せ

一人ひとりが考えてほしい。自分が望み、実現したいと思う「満につらねた文字」。それにむけて努力する真摯な姿勢こそ、必ずや限りない喜びを生むであろう。

北仲福祉会
理事長 北本廣吉

つらねる言葉を搜せ

平成十六年基本理念



北仲福祉会
理事長 北本廣吉

だろう！
かうう！は、
事故のもと。

社会福祉法人北仲福祉会
理事長 北本廣吉

平成十七年基本理念

誠の実現

平成17年
誠の実現

お家の福祉
お隣り福祉
地域へ福祉

当たり前、思いやりの
行為でなければならない

福祉の原点はやさしさ。人
として自然に生まれる思い
やりの心が大きな輪となり、
誠の幸せ社会を創る。そ
の一助となるひとりであれ。

平成十八年基本理念
安全確認

安全確認

平成18年
安全確認

だろう
かろうは 事故のもと

ただ漫然と仕事を続けては
ならない。私たちは人命
に携わっているという緊張
感を忘れず、地域福祉へ
の使命を果たすことに努め
る。

平成二十一年実践方針
笑顔に飽和

北仲福祉会
理事長 北本廣吉

平成十九年実践基本
春夏秋冬 食道楽に挑む

社会福祉法人北仲福祉会
理事長 北本廣吉

平成19年

春夏秋冬 食道楽に挑む

楽しんでいただくための創意工夫、喜んでいただくための真心のおもてなしこそが、ご利用者の満足と自己の充実感を実現する。常に挑む気持ちを持て。

平成20年

笑顔に飽和

ご利用者の笑顔、そして職員の笑顔。集い
あう皆の笑顔が満ち溢れる朱鷺の苑であって
ほしい。そのための自己研鑽に努めよ。